

1、開催日時：平成 21 年 2 月 6 日 13:30～15:30

1、開催場所：秋田県生涯学習センター分館（ジョイナス）研修室

1、当技師会理事数 25 名

参加理事：菅原博之、畠山義彦、藤田美好、阿部毅、宮野勇徳、奈良悦子、三浦浩子、伊藤功、伊藤良子、伊藤優子、小笠原彰、佐藤寛、田中喜美子、高橋稔、中川聡、鈴木睦子、菊池孝哉、高橋和則

欠席理事(○委任状提出者)：三浦徹、○岩谷幸栄、○川上登、○安部真理子、渡部晃、○榊田有美子、遠藤正志

参加理事 18 名、委任状提出理事 4 名、計 22 名で総理事数の過半数を超えており今回の理事会は成立した。

1、書記：三浦浩子

1、議事録署名人：宮野勇徳、佐藤寛

1、議事内容：菅原会長が議長となり、資料に沿って各担当者より内容の説明を受けながら審議された。以下に審議内容・決定事項を示す。

議 事 議長 菅原会長

<書記の選出>

○書記は、中央 県北 県南 由利の順で行われており、今回は県北より三浦浩子が選出された。

<議事録署名人の選出>

○宮野勇徳、佐藤寛の 2 名が選出された。

## I 会長挨拶

1 月から技師会は学会に向けての実務委員会や共有化事業で少しずつ動き始めています。今日は通常総会のための来年度の予算案・事業計画案の審議になります。その後、学術ならびに東北学会準備委員会の合同会議があります。長くなりますが、最後までよろしくお願い致します。

また、2 月 20 日、来年度の役員推薦委員会があります。改選にあたり、今期で会長を退かせていただくつもりです。来年度事業は後任者にお任せすることになりますが、東北学会に関しては、きっちり創り上げていきたいと思っています。皆様ご協力をお願い致します。

## II 平成 20 年度第 4 回理事会（平成 20 年 11 月 22 日開催）議事録の確認

1) 秋臨技の名簿の変更について

- 藤田副会長 : 3件くらいある…正誤表で対応したい。
- 菅原会長 : 変更は締め切ってよい。
- 伊藤良子理事 : 訂正は住所が主なのか？
- 藤田副会長 : 新会員の名前洩れ・市立角館病院の住所など。  
JAMT からダウンロードしたのだが、そちらの変更がなされていなかった。
- 伊藤良子理事 : 登録の変更があれば、届出するようにホームページでも流したい。(変更は各自がしなくてはならないので)  
次ぎの名簿が出版されるまで長く使用する名簿なので、学術部門の名称も学術内規に添った名称に統一したらどうか？ホームページでは、その名称を使用している。またその他、訂正箇所もある。
- 藤田副会長 : 伊藤良子理事にファイルを送ってもらいそのように訂正したい。

3) 公益法人化について…会長が代議委員会の報告のときに話をする。

4) 東北学会について…この後の会議で話をする。

○2月27日の第2回代表者会議について

会長 :

秋田市で開催される。主な内容は第50回東北学会についてだが、それ以外に各県からの質問・日臨技からの要望をとりまとめて協議する。東北学会の資料は阿部副会長が提出する。通常は秋田県から会長・事務局あるいは副会長の(2名)が出席するのだが、今回はオブザーバーとして数名に出席してもらおう。(タクシー券を出し懇親会にも出席してもらおう)

5) その他

○1月18日 月例サーベイ報告会

会長 :

20年度の報告を行った。サーベイ参加40施設のうち30施設の出席があり、個別の病院名をあげて協議できた点は評価できると思う。また、サーベイ参加で他施設の精度管理状況を知り、新しい機器を導入できた施設もある。

4. 事務連絡について

宮野事務局長 :

1) 日臨技エイズ予防啓発活動について

公益特別事業として昨年行ったが、東北のなかでは秋田県と青森県・福島県が活動できなかった。(県学会開催時期と重なっていた。)

日臨技本部でも活動を勧めているので、来年度は畠山副会長と相談しながら進めたい。

### Ⅲ 議事

- 1) 平成 21 年度事業計画（案）について
- 2) 平成 21 年度収支予算（案）について
- 3) 平成 20 年度第 2 回通常総会について
- 4) その他

菅原会長進行のもと、次第に従って会議を進めていった。

#### ○代議委員会の報告

会長：

現在の代議委員会は決定機関ではなく理事会の決定を報告する会になっている。そこで全国会長会議を開き決定事項を代議委員会に持っていくかたちとしているが、理事会の決定事項は変わらない。

#### 20 年度中間報告

- ・公益認定… 認定のためのハードルは低くなってきているが、他医療団体（放射線技師会など）がまだ認定をとっていないので、状況をみている。また国民向けに、臨床検査の紹介を昨年の 11 月から 1 年間にわたって掲載している新聞もある。エイズ予防啓発活動は 30 万の補助をだして行った、が、効果見られず、方法については来年度、また仕切りなおす。事務局は宮城県沖地震の義援金を直接被災地にもって行き大変喜ばれた。
- ・日臨技リンクス…理事は自動的に医療保険に入っている。賠償責任保障は会員の 3 割ぐらい加入している。
- ・財請求部…会費未納者が結構いる。納入方法を検討中。
- ・組織精度…申請による公益事業を進める。
- ・医療安全対策の対応…昨年 9 月に研修会を行った。21 年度も行う。
- ・情報調査…e ランニング。パソコンを利用した会員向けの学習システムを作成している。血液形態部門で試験中である。
- ・精度保障事業  
精度管理…20 年度は輸血 A・B で実施した。21 年度は微生物で実施する。  
標準化事業
- ・学術事業…一般・心電図・染色体の認定試験を行ったが受験者数が少なかったため、再度見直しする。
- ・国際事業…横浜全国学会のときアジア臨床検査技師会 (AAMLS) が同時に開催される。

#### 21 年度の主な活動

- ①公益法人化の申請
- ②標準化事業
- ③AAMLS の成功

## 1) 平成 21 年度事業計画案について

- 通常総会 第 1 回 平成 21 年 5 月 30 日 (土) 会場：ルポールみずほ 予定  
第 2 回 平成 22 年 3 月 13 日 (土) 会場：ジョイナス 予定
- 出版事業…「秋臨技だより」No.81・82・83 号を発行。
- 健康と臨床検査展…東北学会と同時開催。
- 秋田県医学検査学会…東北学会開催のため 21 年度はなし。(他県は両方実施している)
- 生涯教育(新人)研修会…隔年なので 21 年度はなし。
- 秋田県生活習慣病検診従事者講習会…2 月 5 日、秋田県健康推進課より委託の通知があり、例年通り 2 回行う。(県からの予算がつく)
- 管理監督者研修会…期限まで事務局に資料を送る。
- 福利厚生事業…未定
- 臨床検査精度管理事業…精度保証事業として、精度管理事業と共有化事業を一本化にしてはどうか? 今回の総会の議案事項にもしている。
- 検査研修会部門別研修会…血液検査部門は凝固系と疾患別血液形態についての研修会 2 回を予定している。
- 第 50 回 東北医学検査学会 平成 21 年 10 月 31 日 (土) ~ 11 月 1 日 (日)  
秋田市アトリオンを中心に
- 日本臨床検査学会主催研修会…生物化学部門(6 月 27 日~6 月 28 日 会場:ジョイナス)
- 備品の補充…20 年度はプロジェクター用のスクリーン・事務所のロールカーテンを購入。

## 2) 平成 21 年度収支予算(案)について

### ○収入の部

菊池事務局会計：20 年度収入に対して収入合計が少ないのは、県学会と・検査データ共有化が無いからである。

藤田副会長：日臨技の公益化により助成金はどうなるのか?

菅原会長：助成金は出すのだが、その受け渡しをどうするかは、はっきりしていない。

菊池事務局会計：助成金は一人あたり千円強であるが、3 月末まで日臨技に入金した会費が対象である。それ以降に入金した会費は対象にならないので 2 月末までには会費を秋臨技に入金してほしい。現在の会員の入金状況は半分くらいです。よろしくお願ひします。

阿部副会長：県委託事業の助成金は予算通りである。

### ○支出の部

高橋事務局会計：出版事務費の中の通信運搬費を事務費の通信運搬費と一っしょにしている。

小笠原理事・畠山副会長：公益法人化の関係で通信運搬費は管理費に一括とせず出版事務費の中にも項目を残しておくほうが良い。

菅原会長：啓蒙を啓発に直す。

小笠原理事：検査研究部門の交付金を東北学会開催のためと記入しないほうが良い。

検査データ共有化委員会の予算は参加施設からいただくのでその予算を通信費に回したらどうか？

宮野事務局長：収支予算（案）の書式をあわせる。

藤田副会長：話は違うが、東北学会が今年中央開催するのだが、来年の県学会も中央になるのか？

菅原会長：今後の話し合いとしたい。来年度の総会に提案する。

### 3) 平成 20 年度第 2 回通常総会について

宮野事務局長：第 3 号議案 検査データ共有化事業を精度管理事業に訂正。

菅原会長：講演の「新型インフルエンザの検査体制」を「新型インフルエンザ対策について」に訂正する。座長は畠山副会長に願います。

宮野事務局長：役員改正があるため総会の時間は 30 分のびる。また、総会役員を各支部長は期限まで届ける。議案書の資料も同様願います。

### 4) その他

○2 月 2 日 20 年度プロモーション地区委員会（宮城県）に出席して

高橋事務局会計：メーカーの協賛費は県学会は良いのだが、研修会・勉強会のときはメーカーに相談してみる。（制約があり今までのように出せないことがあるかもしれない）メーカーからいただく本や新製品の説明会も同様だ。

○第 33 回秋田県医学検査学会会計報告（本荘由利支部）

菊池事務局会計：黒字収支で終えることができた。

### 4. 事務連絡（宮野事務局長）

○エイズ予防啓発活動…東北では 3 県、活動できなかった。

○次年度の個人への配送はメール便を使う（業者には頼まない）

○検査展を他県では県・市など行政とジョイントしているところが多い。（会場費などが安くなるメリットがある）秋田県も考えてみたらどうか？

○第 51 回東北医学検査学会 平成 22 年 10 月 9 日から 10 月 10 日  
青森県八戸市に決定

社団法人 秋田県臨床検査技師会

書 記 三浦 浩子

議事録署名人 宮野 勇徳 ㊞

議事録署名人 佐藤 寛 ㊞